



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3435 URL http://www.sanko-techno.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 佐藤 静男 (TEL) 04-7192-6638
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,430	14.5	1,064	55.8	1,040	57.0	619	81.5
25年3月期第3四半期	10,854	6.2	683	67.7	662	75.0	341	90.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 748百万円(97.5%) 25年3月期第3四半期 379百万円(284.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	152.34	151.60
25年3月期第3四半期	83.93	83.78

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,540	7,999	53.6
25年3月期	14,089	7,320	50.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,797百万円 25年3月期 7,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期(予想)の期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の期末の配当金は50円00銭となります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,760	10.9	1,250	44.1	1,200	42.8	710	60.2	174.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)より算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	4,372,704株	25年3月期	4,372,704株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	303,338株	25年3月期	303,338株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	4,069,366株	25年3月期3Q	4,069,414株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、欧米財政問題や新興国経済の減速などの影響により、先行きに不安要素が残る状況で推移しましたが、政府の経済対策及び今後に対する期待感を背景に、株式相場の上昇基調や円安効果の進展が企業マインドの改善を後押しし、緩やかな景気回復の動きがみられました。当社グループが関連する建設市場におきましても、景気対策関連の公共投資の増勢や堅調な民間設備投資を背景に、市況改善の傾向が顕著となってきました。しかしながら一方では、建設資材の不足や人員不足等により、建設コストの上昇や工事の着工ペースに遅れが生じておりました。

このような状況のもと、当社グループでは、主力製品のあと施工アンカーの販売が堅調であったほか、太陽光発電市場向け製品の販売が好調に推移しました。また、利益面では、高付加価値製品の販売を促進する一方で、営業経費等の販管費抑制に努めました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は12,430百万円（前年同四半期比14.5%増）、営業利益1,064百万円（同55.8%増）、経常利益1,040百万円（同57.0%増）、四半期純利益は、619百万円（同81.5%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①ファスニング事業

建設資材の不足や人員不足により工事の着工に遅れが出ましたが、都市圏を中心とした堅調な再開発需要や維持保全需要の回復を受けて、主力製品である金属系・接着系アンカーやドリルなどの施工関連ツール・引張確認試験機の販売が伸長しました。

この結果、当セグメントの売上高は9,479百万円（前年同四半期比12.4%増）、セグメント利益は785百万円（同26.3%増）となりました。

②リニューアル事業

太陽光関連ではメガソーラー物件の受注や公共投資の増勢により、中規模物件の引合いが伸長したほか、外壁補修関連製品が順調に推移しました。一方、FRPシート関連製品は前期まで続いた補助金制度による特需の反動減がありました。

この結果、当セグメントの売上高は2,587百万円（同23.4%増）、セグメント利益は259百万円（同164.5%増）となりました。

③センサー事業

電子基板関連で試験機関連製品が好調に推移したほか、アルコール測定器が堅調な伸びをみせました。

この結果、当セグメントの売上高は458百万円（同16.4%増）、セグメント利益は6百万円（前年同四半期はセグメント損失55百万円）となりました。

なお、数値にはセグメント間取引を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より450百万円増加して14,540百万円となりました。これは主として現金及び預金、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より228百万円減少して6,540百万円となりました。これは主として短期借入金、流動負債その他に含まれる未払金が減少した一方、支払手形及び買掛金、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より678百万円増加して7,999百万円となりました。これは主として利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成25年9月13日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細については、本日（平成26年2月14日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,192,609	1,522,206
受取手形及び売掛金	3,414,635	3,355,990
たな卸資産	2,419,146	2,667,339
その他	741,259	653,362
貸倒引当金	△6,885	△5,469
流動資産合計	7,760,765	8,193,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,371,805	1,407,772
土地	3,036,607	3,099,256
その他(純額)	537,792	571,646
有形固定資産合計	4,946,205	5,078,674
無形固定資産	100,014	85,510
投資その他の資産	1,282,944	1,182,644
固定資産合計	6,329,164	6,346,829
資産合計	14,089,930	14,540,258
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,061,024	1,222,736
短期借入金	3,446,320	3,138,820
未払法人税等	228,738	196,623
賞与引当金	130,298	82,263
その他	554,625	430,760
流動負債合計	5,421,006	5,071,204
固定負債		
長期借入金	101,342	212,645
退職給付引当金	1,012,651	1,021,359
役員退職慰労引当金	28,657	31,412
その他	205,372	204,286
固定負債合計	1,348,023	1,469,703
負債合計	6,769,030	6,540,907

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	6,056,145	6,594,687
自己株式	△244,258	△244,258
株主資本合計	7,161,669	7,700,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,164	16,366
為替換算調整勘定	△6,498	80,522
その他の包括利益累計額合計	△10,662	96,888
新株予約権	9,411	21,507
少数株主持分	160,482	180,743
純資産合計	7,320,900	7,999,350
負債純資産合計	14,089,930	14,540,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	10,854,719	12,430,892
売上原価	7,475,189	8,512,795
売上総利益	3,379,530	3,918,096
販売費及び一般管理費	2,696,241	2,853,853
営業利益	683,288	1,064,242
営業外収益		
受取利息	5,744	3,445
受取配当金	2,348	3,345
仕入割引	31,502	33,484
投資不動産賃貸料	23,092	23,168
持分法による投資利益	2,132	1,214
その他	32,691	30,890
営業外収益合計	97,511	95,549
営業外費用		
支払利息	14,362	10,890
売上割引	73,061	85,108
その他	30,401	23,135
営業外費用合計	117,825	119,133
経常利益	662,973	1,040,658
特別利益		
固定資産売却益	996	1,399
投資有価証券売却益	—	1,193
特別利益合計	996	2,592
特別損失		
固定資産除却損	1,655	8,310
役員退職慰労金	72,162	—
その他	800	—
特別損失合計	74,618	8,310
税金等調整前四半期純利益	589,351	1,034,940
法人税等	236,375	409,897
少数株主損益調整前四半期純利益	352,976	625,042
少数株主利益	11,432	5,113
四半期純利益	341,543	619,929

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	352,976	625,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	20,537
為替換算調整勘定	25,952	103,122
その他の包括利益合計	26,046	123,659
四半期包括利益	379,023	748,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363,910	727,480
少数株主に係る四半期包括利益	15,112	21,221

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,413,219	2,092,410	349,089	10,854,719	—	10,854,719
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,946	4,534	44,920	68,401	△68,401	—
計	8,432,166	2,096,945	394,009	10,923,120	△68,401	10,854,719
セグメント利益又は セグメント損失(△)	622,081	98,177	△55,218	665,041	18,247	683,288

- (注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,469,006	2,585,259	376,626	12,430,892	—	12,430,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,031	1,916	82,133	94,081	△94,081	—
計	9,479,038	2,587,175	458,759	12,524,973	△94,081	12,430,892
セグメント利益	785,492	259,655	6,669	1,051,817	12,425	1,064,242

- (注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。